

「Africa Twin」は、Hondaが世に先駆け、1988年に「アドベンチャー・スポーツ」という新たなコンセプトを「XR650 Africa Twin」で具現化し、新しい価値観とともに新たな市場創造に挑戦しました。その後も、世界の多くのお客様に「Africa Twin」のコンセプトや価値観が支持され、1988年の発売開始から全世界で累計約7万3千台を販売し、生産終了後も多くのお客様に愛用され続けています。

年々厳しい状況にある先進国の大型Funモデル市場において、大型オン・オフカテゴリーは、緩やかに拡大傾向で、一定のお客様に支持され安定した販売を続けています。その中でも「アドベンチャー」を掲げるモデルが国内外のメーカーからも数多く販売されるようになりました。

このような状況の中、真のアドベンチャーモデルを待ち望むお客様の声が、国内はもとより欧州、北米市場を中心に高まりを見せてきました。

Hondaは、お客様のご要望に応えるには絶好のタイミングと考え、アドベンチャーモデルの先駆である「Africa Twin」を復活させるべく、このコンセプトを熟知している開発メンバーが集り、Hondaが24年振りにダカール・ラリーへ参戦した2013年に、「CRF1000L Africa Twin」の開発をスタートさせました。



開発チームは、1980年代にHondaが参戦を続けていた「ノバ・ダカール・ラリー」における“挑戦の歴史”と、当時新たな市場の創出に挑戦した“Africa Twin”の伝統を継承しながらも、新時代の「Africa Twin」を開発することを目標としました。

新時代のAfrica Twinとして求められる「アドベンチャー」とは何かを開発チームは議論し「Africa Twinにおける真のアドベンチャー」を徹底的に追求しました。

開発チームは「Africa Twin」を称するのであれば、オフロードの走破性が高いことは必須条件であり、加えて「オフロードに到達するまでの高速走行を含むオンロードでの移動は荷物を積載しても快適に走行できること」この二律背反の目標を高次元で融合させることを開発のコンセプトとし、これが実現できなければ真の「Africa Twin」ではないと考えました。

先代「Africa Twin」の伝統とコンセプトを踏襲するだけでなく、これからの時代に求められる環境性能や、次世代の「Africa Twin」に相応しい新たな先進技術にチャレンジするなど、その狙いは他のアドベンチャーモデルとは一線を画しています。

このように独自の開発思想、独自のコンセプト、独自の先進技術の下で開発されていることから他に比類のない、新たな「Africa Twin」が生み出されました。

開発コンセプト

日常のコミューティングから広大な夢の大地を走破できる、真の本格アドベンチャーモデル

